

阿蘇山の火山活動解説資料

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

<噴火警戒レベル 2（火口周辺規制）が継続>

阿蘇山では、本日（13日）12時15分頃、中岳第一火口でごく小規模な噴火が発生し、灰白色の噴煙が火口縁上 600mまで上がり南に流れました。噴火は 14 時 10 分まで継続しました。

阿蘇山で噴火が発生したのは 2011 年 6 月 9 日のごく小規模な噴火以来です。

【防災上の警戒事項等】

中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

○ 活動概況（図 1）

阿蘇山では、本日（13日）12時15分頃、中岳第一火口でごく小規模な噴火が発生し、灰白色の噴煙が火口縁上 600mまで上がり南に流れました。噴火は 14 時 10 分まで継続しました。

本日実施した現地調査では、灰白色の噴煙が噴出しているのを確認しました。また、中岳第一火口の南約 1 km 付近で少量の降灰を確認しました。

火山性微動の振幅は 2 日以降、小さい状態が続いていましたが、昨日（12日）8 時頃から 19 時にかけて一時的に大きくなり、その後小さくなりました。現在も小さな状態となっています。火山性地震および孤立型微動は少ない状態で経過しています。

10 日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は 1 日あたり 1500 トン（前回 7 日、1200 トン）と多い状態でした。

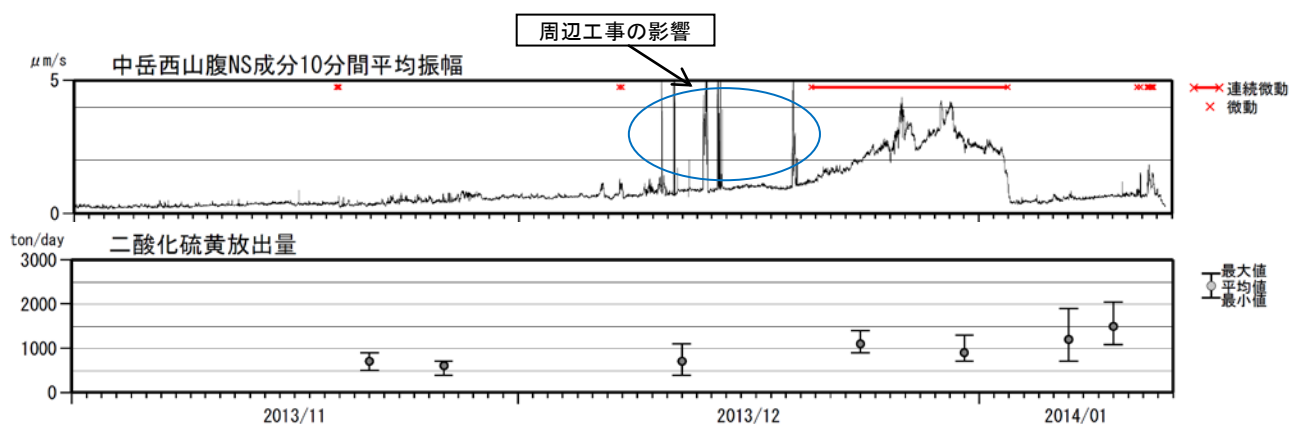


図 1 阿蘇山 平均振幅及び二酸化硫黄放出量経過図(2013 年 11 月 1 日～2014 年 1 月 13 日)

この火山活動解説資料は福岡管区気象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。



図 2 阿蘇山 噴火の状況（1月13日12時15分、草千里遠望カメラによる）
灰白色の噴煙が火口縁上 600mまで上がり南に流れました



図 3 阿蘇山 阿蘇火山博物館火口カメラによる阿蘇山中岳第一火口の火口内の
噴火の状況（1月13日12時25分）
黒丸内に火山灰を含んだ噴煙を確認しました。
噴煙のため、湯だまりは確認できませんでした。



図4 阿蘇山 降灰の状況（1月13日12時頃） 中岳第一火口の南約1km付近で付着した火山灰の状況。